

4 年間継続している大阪湾見守りネットの活動

大阪湾見守りネット代表 田 中 正 視

Activities of "Mimamori-net for Osaka Bay" lasting for four years. Masami Tanaka (*The representative of "Mimamori-net for Osaka Bay"*)

先ほどから神戸技調、大阪府港湾局の方々からお話をいただきましたが、お役所の方がこのような場に出てこられるというのは本当に大変だと思います。しかし、私たちがやっている「大阪湾見守りネット」というのは、私個人の考えを強く言いますと、決して役所の方々ははずして活動してはいけない、是非入っていただくべきだと思っています、絶対に。私も地域のNPOで活動していますが、それぞれが自己満足でやっていたら大阪湾は絶対に良くならないと思います。大阪湾を何とかしようよということで、私たちが4年間、毎年開催してきた「大阪湾フォーラム」のキャッチフレーズは「ほっといたらあかんやん!大阪湾!」です。「もうほっとかれへんで」「今、なんとかしようよ」と人差し指を立てたのです。要は「皆さん、この指たかれ」ということです。

大阪湾にもウミガメが来ています。この前の金曜日にも大阪泉州の方へ死んだウミガメが漂着しました。解剖して卵巣のようすを見たら排卵している。どこかへ卵を産んだということです。でも、いったい大阪湾のどこに産んだのでしょうか?そのウミガメが死んで漂着したところ、「ウミガメが岸に打ち上がったで、いまチャブチャブしてるで」とすぐに電話が入りました。私の携帯電話の裏にもウミガメ協議会のシールを貼っています。「先生、ウミガメが来たで」とすぐに連絡が入る

のです。早速、この携帯電話からウミガメ協議会へ連絡し、さらに博物館へ連絡し、と情報が流れていきます。携帯電話とは何と便利な道具でしょう、と思いますが、そういうことなんです。ネットワークをつくろうとすると、国には国のお役所しかできない仕事がいっぱいあります。ぜひしていただきたい。大阪府さんにもしていただかなければならない仕事がいっぱいあります。NPOにはNPOでしかできない仕事がいっぱいあります。個人ひとりひとりでも、できる仕事がいっぱいあります。それぞれがばらばらでは大阪湾は絶対にどうしようもないと思います。「ウミガメ来たで」というとあっちこちに情報がまわる、というのがネットワークだと思います。

泉南市にもウミガメがやってきました(1999年8月)。今度は生きていて卵をちゃんと産んでくれました。その第1発見者は、朝日が昇る前から犬を連れて散歩している近所のおっちゃんです。「変な足跡あるで」と知らせてくれました。産卵している所は見えていません。「でも変やな、この足跡」となったら即、電話をくれたのです。そのような場合には、私の携帯電話の番号は知られていないので、泉南市役所の483-0001番に電話してくださいと言ってあります。24時間対応できます。そうですよね、お葬式でもだれか役所の人がいっても対応してくれます。市役所という所にはそう

1

いう素晴らしいネットワークの起点があるわけです。ただし、ウミガメでつながっているところはめったにないと思いますが…。私は環境省の自然公園指導員をやっていますけれど、腕章をつけて海岸を歩いて、「ここらウミガメ来るからね、見たら教えてね」と言って、出会う人ごとをお願いしていたのです。そうしたら早朝市役所へ電話をくれて、市役所から私の携帯に電話をくれるようになりました。そしてウミガメの赤ちゃんが生まれたら、大阪府の企業局や港湾局やら皆さん方の協力をいただいて、ふ化して海岸に帰るまで、もう泉南市の市役所の部長さん達は、夜中も24時間の見張り体制を敷いて当番表まで作って交代で見張ってくれました。どうしてそこまでしてくれるかという、大阪湾にはすごい魅力がある、ウミガメ1匹でもみんなが夢中になれる、すばらしいものを大阪湾は持っているということだと思うのです。

この会場で「大阪湾見守りネット」という名前を「今まで聞いたことがないねん、初めて聞くわ、何してんねん」という人はそっと、はい、私と目線を合わせてください。有難うございます。やっぱりまだまだ、何をやっているのかのアピールができていないと痛感しますね。ただし、今日のご縁で「パチッ！」と目をあわせていただきました方は是非ハマッテください。そのハマリかたのノウハウを書いたプリントを今日は配らせていただきます。

このネットワークは大阪湾をなんとかしようというネットワークです。人差し指を立てています、

「この指たかれ！」です。役所、個人、団体の形でご参加されています。それぞれの方がそれぞれの活動をもうすでにやっておられます。それを持ち寄ってください。つなげてください。つなげないと力になりません。金曜日に来たお母さんのウミガメは死んでしまったけれど、卵巣を解剖したらどこかで卵を産んだということがわかりました。ウミガメは喜んでます。たくさんの情報を残しました。こんなふうに関西からいろんな情報をもって活動していきたいと思っています。

この活動で心がけている大切なことは、まず「楽しくしようよ！」ということです。楽しかったら元気になります。もうひとつ大事なことは「ほんまもん」の活動をすること、「ほんまもん」でないと大阪湾は守れません。そのためにはシャキッとした柱を立てないといけません、ぶれないようにすることです。それが、第1回目のフォーラムをこの大阪市立自然史博物館でさせていただいたことの意味です。そして須磨海浜水族園、きしわだ自然資料館、西宮貝類館でやってつないできたのですが、やっぱり根本の理論的な柱のようなものがしっかりしているからぶれないのだと思います。

まだ見守りネットのことをご存じでない方もいらっしゃると思います。ぜひ目を向けていただき、「大阪湾をほっとかへんで！」ということで「この指に、たかってください！」どうぞごいっしょに行動していきましょう。よろしく、お願いいたします。